

不定詞だけを目的語とする動詞（意味によって分類）	
意味	
(1) 要求・希望	ask, beg, care, claim, demand, desire, hope, long, want, wish
(2) 意図・決心	aim, decide, determine, mean (=intend) , pretend, resolve, seek
(3) 賛成・援助・約束	agree, consent, guarantee, help (=assist) , offer, promise, swear, undertake, volunteer; decline, refuse
(4) 期待	expect, think
(5) 準備	arrange, prepare
(6) 敢行	dare, venture; hesitate
(7) その他	afford, fail, learn, manage

動名詞だけを目的語とする動詞（原則 1、2、3 で分類）	
原則の 1 動名詞は時間的に中立的か、過去の事柄を表す。	
(1) 時間的に中立	appreciate, enjoy; consider, fancy (= imagine), imagine, understand practice, risk
(2) 時間的に過去	admit, deny, recall, recollect
原則の 2 動名詞は動作の実現に消極的な含みを持つ動詞と結合する。	
(1) 回避	avoid, escape, evade, (cannot) help, miss, resist; mind
(2) 延期・遅延	postpone, delay; put off (= postpone)
(3) 終了・休止	finish, quit, stop; give up. leave off
原則の 3 動名詞の意味上の主語は文の主語と一致しないことがある。 そのために、他人に対する許可・禁止・助言などを表す動詞の目的語になる。	
(1) 許可・禁止	allow, permit; prohibit
(2) 助言・勧告・提案	advise, recommend, suggest

不定詞と動名詞の両方を目的語とする動詞-(1)	
(1)意図・計画 原則の 2 からみて、不定詞のほうが普通である。	attempt, intend, propose (=intend), plan
(2) 好悪 平生の好き嫌いを言うときには、動名詞のほうが普通である。	hate, like, love, prefer; choose, dislike
(3) 起動・継続	begin, start, continue
(4) 忍耐 通例 can を伴って、否定文と疑問文で使われるが、動名詞のほうが普通である。	bear, endure, forbear, stand
(5) その他	neglect, omit; cease
不定詞と動名詞の両方を目的語とする動詞- (2)	
不定詞は未来指向、動名詞は過去指向という原則の 1 に従って、不定詞を目的語とする場合は「これからすること」を表し、動名詞を目的語とする場合は「すでにしたこと」を表す動詞かある。	
(1) forget a)「(うっかりして) ~するのを忘れる」, b)「~したのを忘れる」	
(2) remember a)「忘れずに~する」, b)「~したのを覚えている」	
(3) regret a)「~するのを残念に思う」, b)「~したのを残念に思う」	
(4) try a)「~しようとする」, b)「~して(結果を)みる」	
不定詞と動名詞の両方を目的語とする動詞-(3)	
動名詞は能動態、不定詞は受動態で同じ意味を表す動詞がある。	
(1) need 一般には動名詞を続けるほうが普通である。	
(2) その他 want, require	